



進んで学び、互いが育つかわりのできる 南郷っ子の育成

南郷の風

南会津町立南郷小学校により

令和7年11月7日発行

令和7年度 第22号

発行者：校長 橋内 伸行

心を耕す「読書」の力 ～読書強化月間～

秋は「読書の秋」とも言われており、毎年、10月27日から11月9日は読書週間となり、読書の推進へ向けたさまざまな行事が行われています。

読書週間に合わせて、本校では今年度2回目の「読書強化月間」と位置づけ、全校生で読書活動の推進に取り組んでおり、来週10日（月）には、前職員：河原田三春さんによる全校生を対象とした読み聞かせを予定しています。

年間をとおして、「朝の読書タイムの充実」や「サポートティーチャーによる読み聞かせ」、「『おすすめの本』紹介コーナー」の設置、新刊図書の購入など、子どもたちが読書に親しむことのできる環境整備に努めていますが、今回の読書強化月間の取組により、一層の充実が図れればと考えています。

学校での取組に加え、ご家庭での読書の時間も大切にしていきたいと考えています。この期に、テレビやゲームから少し離れ、お子様と並んで本を開いたり、寝る前の読み聞かせや本について語り合う時間を設けたり…こうした親子の触れ合いが、読書への最高の動機づけとなります。

本校では、図書室の蔵書を家庭でも活用できるよう貸し出しを行っています。ぜひ、この機会にご活用いただき、各家庭においても「読書」を共通の話題としていただきたいと思います。



【わたしのおすすめの本紹介】



ふたりはともだち
作：アーノルド・ローベル
出版社：文化出版局

国語「おてがみ」でもおなじみのがまくんとかえるくん。「なくしたボタン」では、おてがみでかえるくんが着ていた上着（ジャケット）の秘密がわかります。みんな知っていたかな？



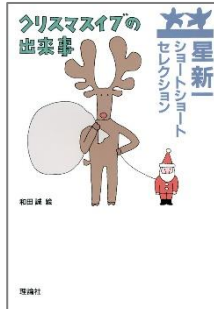
10分で読めるお話 シリーズ
出版社：学研

小学生のそれぞれの学年の子どもたちに読んでもらいたい日本や世界の名作や古典が集められています。1つの話を短い時間で読むことができ、さまざまな作品に触れることのできる1冊です。



シートン動物記 1
オオカミ王ロボ
作：アーネスト・T・シートン
出版社：集英社

シリーズの中でもおすすめの1冊。牛を襲うオオカミ・ロボと人間の知恵比べやロボのかっこよさがとても印象深く覚えています。



星新一ショートショートセレクション
作：星新一
出版社：理論社

短い文学「ショートショート」の神様、星新一さんの短編集。なるほど！と思ったり、ユーモアがあったり。だいぶ昔の作品ですが、今読んで古さを感じないお話が盛りだくさんです。

私自身が小学生だった頃に読んで思い出に残っている本を中心に、子どもたちにも是非読んでもらいたい作品を紹介させていただきました。

先日、御蔵入交流館内にある町立図書館へ出かけたところ、貸出蔵書として1万3000冊以上の児童書があると伺いました。子どもたち一人一人の「読書の扉」を開く鍵となるような本がきっと見つかるのではないでしょうか。

